

*ProcureMART*

*HTTPClient*

利用手引書

2005年11月

富士通株式会社  
ネットワークサービス事業本部

## 改訂履歴

### 商標について

- ・ **Java** およびその他の **Java** を含む商標は、米国 **Sun Microsystems, Inc** の米国およびその他の国における商標です。
- ・ この製品にはアパッチ・ソフトウェア財団( <http://www.apache.org/> )によって開発されたソフトウェアが含まれます。
- ・ この製品には RSA データセキュリティ株式会社によって開発されたソフトウェアが含まれます。

---

# 目次

<b>1.</b>	<b>動作概要</b> .....	<b>1</b>
<b>2.</b>	<b>ディレクトリ／ファイル構成</b> .....	<b>2</b>
2.1	WINDOWS版ディレクトリ／ファイル構成.....	2
2.2	SOLARIS版ディレクトリ／ファイル構成.....	3
<b>3.</b>	<b>ファイル仕様</b> .....	<b>4</b>
3.1	環境設定ファイル.....	4
3.2	送信ファイル.....	6
3.3	受信ファイル.....	6
3.4	再受信ファイル.....	6
3.5	受信中ファイル.....	6
3.6	シーケンス番号ファイル.....	7
3.7	メッセージファイル.....	7
3.8	ログ定義ファイル.....	8
3.9	ログファイル.....	9
<b>4.</b>	<b>起動インターフェース</b> .....	<b>14</b>
4.1	送信・受信・再受信起動インタフェース.....	14
4.2	ログ情報参照起動インタフェース.....	15
4.3	ログ削除処理起動インタフェース.....	16
<b>5.</b>	<b>実行手順</b> .....	<b>17</b>
5.1	実行までの準備.....	17
5.2	送信処理.....	17
5.3	受信処理.....	18
5.4	再受信処理.....	18
5.5	ログ情報参照処理.....	19
5.6	ログ削除処理.....	19
<b>6.</b>	<b>運用上の注意</b> .....	<b>20</b>
6.1	2重起動.....	20
6.2	受信中ファイルの扱い.....	20
6.3	自動で削除されないデータ.....	20
6.4	定義ファイルのバックアップ.....	20
6.5	集配信が出来なくなったら.....	20
6.6	サポート窓口への問い合わせ.....	21

---

---

7.	メッセージ一覧 .....	23
8.	サーバステータス一覧.....	41
8.1	送信 .....	41
8.2	受信 .....	44
8.3	再受信.....	48
付録	HTTPファイル転送におけるタイムアウト/トライ時間設定 .....	50

# 1. 動作概要

ProcureMART HTTPclient は、ProcureMART の HTTP サーバと HTTP プロトコルによりファイル転送を行う専用アプリケーションであり、ProcureMART 加入者へ無償で配布されます。

以下に HTTPclient システムの概要図を示します。

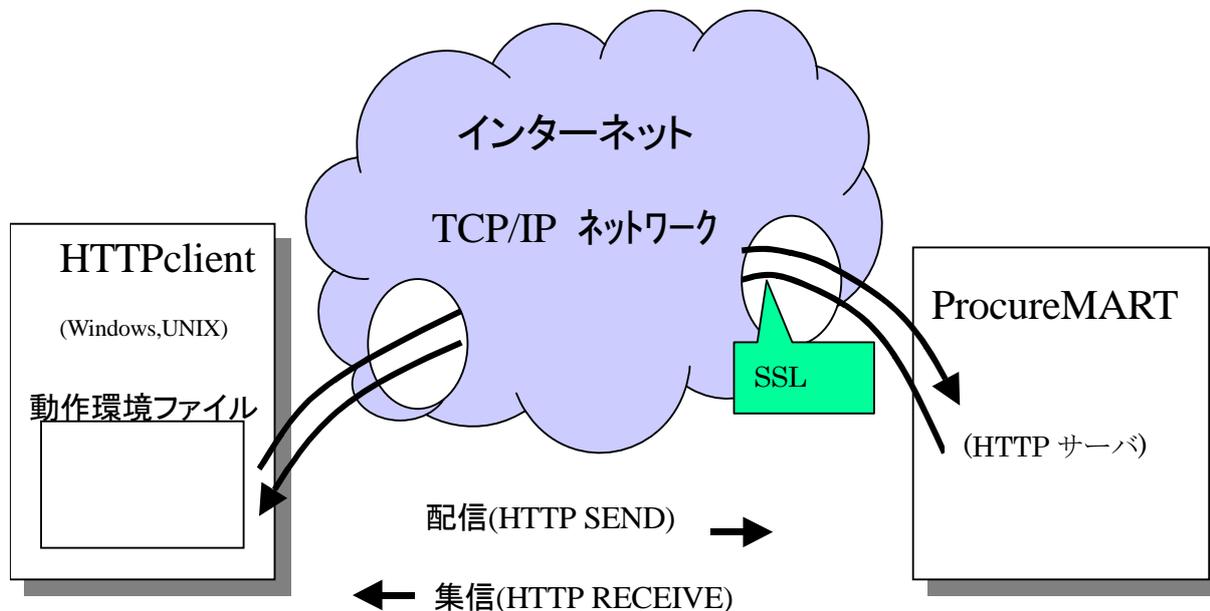


図 1 HTTPclient システム概要図

図 1 で示されるように HTTPclient は ProcureMART の HTTP サーバとの間で HTTP プロトコル通信を行い、利用者にファイルの集配信機能を提供します。

また、HTTPclient では、SSL (Secure Socket Layer) による暗号化通信をサポートします。本機能により、インターネット上においてもセキュリティの高い通信を実現することができます。

HTTPclient では上記の機能を利用し、大きく分けて以下のような流れの処理を行います。

## 1) HTTPclient の動作定義の取り込み

動作環境ファイルを読み込み、定義情報の取り込みを行います。

定義情報に従い、HTTPclient は動作します。

## 2) 集配信処理の実行

以下のファイル転送を実行します。

- ・ ProcureMART の HTTP サーバへ配信ファイルを送信する。
- ・ ProcureMART の HTTP サーバから集信ファイルを受信する。
- ・ ProcureMART の HTTP サーバから集信ファイルを再受信する。

本書では、HTTPclient を利用するにあたり、使用手順およびその他仕様について説明します。

---

## 2. ディレクトリ／ファイル構成

### 2.1 Windows版ディレクトリ／ファイル構成

#### 2.1.1 セットアップディレクトリ／ファイル構成

(BASEDIR)¥ProcureMART¥	: Httpclient ディレクトリ
Setup.exe¥	: Httpclient インストールファイル
<他 17 ファイル>	
Jre¥	: JRE ディレクトリ
j2re-1_3_1-win-i.exe	: JRE インストールファイル
Log4j¥	: log4j ディレクトリ
jakarta-log4j-1.1.3.zip	: log4j インストールファイル

#### 2.1.2 「PurocureMART HTTPclient」のディレクトリ／ファイル構成

(BASEDIR)¥lib¥	: ライブラリ格納ディレクトリ
PmartCL.jar	: ライブラリ(jar)ファイル
etc¥	: 環境ファイル格納ディレクトリ
PmartClient.seq	: シーケンス番号ファイル
config.txt	: 環境設定ファイル (サンプル)
MSGFILE.txt	: メッセージファイル
PmartClient.properties	: ログ定義ファイル
src¥	: ソースプログラム格納ディレクトリ
doc¥	: JavaDoc ディレクトリ
snd¥	: 送信ファイル格納ディレクトリ
sndback¥	: 送信済ファイル格納ディレクトリ
sndwork¥	: 送達確認待ちファイル格納ディレクトリ
rcv¥	: 受信ファイル格納ディレクトリ
rcm¥	: 再受信ファイル格納ディレクトリ
log¥	: ログ格納ディレクトリ
PmartClient.log	: ログファイル

※BASEDIR : 提供媒体を展開したディレクトリ

---

## 2.2 Solaris版ディレクトリ／ファイル構成

(BASEDIR)¥ProcureMART¥	: Httpclient ディレクトリ
lib¥	: ライブラリ格納ディレクトリ
PmartCL.jar	: ライブラリ(jar)ファイル
etc¥	: 環境ファイル格納ディレクトリ
PmartClient.seq	: シーケンス番号ファイル
config.txt	: 環境設定ファイル (サンプル)
MSGFILE.txt	: メッセージファイル
PmartClient.properties	: ログ定義ファイル
src¥	: ソースプログラム格納ディレクトリ
doc¥	: JavaDoc ディレクトリ
snd¥	: 送信ファイル格納ディレクトリ
sndback¥	: 送信済ファイル格納ディレクトリ
sndwork¥	: 送達確認待ちファイル格納ディレクトリ
rcv¥	: 受信ファイル格納ディレクトリ
rcm¥	: 再受信ファイル格納ディレクトリ
log¥	: ログ格納ディレクトリ
PmartClient.log	: ログファイル
Jre¥	: JRE ディレクトリ
j2re-1_3_1-solsparc.sh	: JRE インストールファイル
Log4j¥	: log4j ディレクトリ
jakarta-log4j-1.1.3.zip	: log4j インストールファイル

※BASEDIR : 提供媒体を展開したディレクトリ

---

## 3. ファイル仕様

「ProcureMART HTTPclient」で使用するファイルの仕様について示します。

### 3.1 環境設定ファイル

HTTPclient の動作環境を定義するファイルです。

集配信を開始する前に必ずセットアップが必要です。

ファイル名 : 任意。

フォーマット : 「パラメータ名=値」

先頭が“#”で始まる行はコメント行とみなします。

パラメータ名は以下の 12 種類に固定となっています。

- HOST HTTP サーバのホスト名(または IP アドレス)
- PORT 通信ポート番号
- BASEURI HTTP サーバの URI を記述。
- USERID ユーザ認証用ユーザ ID
- PASSWD ユーザ認証用パスワード
- PROXYHOST プロキシサーバのホスト名 (オプション)
- PROXYPORT プロキシサーバの通信ポート番号(オプション)
- TIMEOUT サーバからの応答の待ち時間(分) ※1
- RETRY ProcureMART HTTPclient プログラムの内部リトライ回数
- RETRYTIME リトライが始まるまでの待ち時間(分) ※1
- BASEDIR HTTP クライアントのベースディレクトリを記述  
(2章 ディレクトリ/ファイル構成参照)
- DATATYPE データの改行コード(LF : 0、CRLF : 1)※2
- DELFILEZERO データ受信サイズが 0 バイトの場合、削除(削除する : true、削除しない : false)
- EXIT01 : 復帰値の旧版互換を設定する。(true:旧版互換)※3

※1TIMEOUT の指定は、10 (10 分以上) を指定してください。詳細は、付録 HTTP ファイル転送におけるタイムアウト/リトライ時間設定を参照。

※2 DATATYPE が 0 の場合

- 送信、受信、再受信時とも改行コードの変換は行いません。

DATATYPE が 1 の場合

- 送信 : データ中の CRLF を LF に変換しながら送信します。
- 受信、再受信 : データ中の LF を CRLF に変換しながら受信します。

※3 EXIT01 が TRUE の場合

- 終了ステータスが(0or1)となります。(旧版と互換)

---

コード系           : プラットフォーム OS のコード系に準拠します。  
格納ディレクトリ : etc ディレクトリ

例) 環境設定ファイルの記述例 (**Windows** 版 : プロキシなし)

```
#ProcureMART HTTP Client Config File
HOST= filetrans.procuremart.ne.jp
PORT=443
BASEURI=http://filetrans.procuremart.ne.jp/servlet/
USERID=fujitsu
PASSWD=ProcureMART
#PROXYHOST=
#PROXYPORT=
TIMEOUT=10
RETRY=2
RETRYTIME=6
BASEDIR= C:¥ProcureMART
DATATYPE=0
DELFILEZERO=false
EXIT01=false
```

例) 環境設定ファイルの記述例 (**Solaris** 版 : プロキシあり)

```
#ProcureMART HTTP Client Config File
HOST= filetrans.procuremart.ne.jp
PORT=443
BASEURI=https://filetrans.procuremart.ne.jp/servlet/
USERID=fujitsu
PASSWD=ProcureMART
PROXYHOST=proxy.xxx.co.jp
PROXYPORT=8080
TIMEOUT=10
RETRY=2
RETRYTIME=6
BASEDIR= /home/ProcureMART
DATATYPE=0
DELFILEZERO=false
EXIT01=false
```

---

### 3.2 送信ファイル

HTTPclientにて、ProcureMARTのHTTPサーバに送信するファイルです。

- ファイル名 : ファイル識別名(8byte 固定)+英数字(MAX8byte)  
フォーマット : 任意 (可変長可能)  
登録申請にて指定したフォーマット (EDIFACT,CII,フラット等) に従います。  
コード系 : 任意。  
ファイル識別名単位で規定するフォーマットに従います。  
格納ディレクトリ : snd ディレクトリ

### 3.3 受信ファイル

HTTPclientにて、ProcureMARTのHTTPサーバから受信したファイルです。

- ファイル名 : ファイル識別名(8byte 固定)+シーケンス番号(8byte)  
フォーマット : 任意 (可変長可能)  
登録申請に従います。  
コード系 : 任意。  
ファイル識別名単位で規定するフォーマットに従います。  
格納ディレクトリ : rev ディレクトリ (受信ファイル)

### 3.4 再受信ファイル

HTTPclientにて、ProcureMARTがHTTPサーバから受信済ファイルを再受信したファイルです。

- ファイル名 : . ファイル識別名(8byte 固定)  
フォーマット : 任意 (可変長可能)  
登録申請に従います。  
コード系 : 任意。  
ファイル識別名単位で規定するフォーマットに従います。  
格納ディレクトリ : rcm ディレクトリ (再受信ファイル)

### 3.5 受信中ファイル

HTTPclientが、ProcureMARTのHTTPサーバから受信する時のワークファイルです。  
データ受信ですので、本ファイルに対し、処理は実行しないで下さい。

- ファイル名 : . +ファイル識別名(8byte 固定)  
フォーマット : 受信ファイルと同じ

---

コード系 : 受信ファイルと同じ  
格納ディレクトリ : rcv ディレクトリ (受信中ファイル)

### 3.6 シーケンス番号ファイル

ProcureMART の HTTP サーバは、ファイル識別子毎にシーケンス番号(通番)を管理し、ファイルの 2 重送信、2 重受信が発生しないよう制御しています。HTTPclient で、HTTP サーバの送信を管理するのがシーケンス番号ファイルです。正常に HTTPclient が処理されている場合、HTTP サーバと HTTPclient のシーケンス番号は同じとなります。

ファイル名 : PmartClient.seq  
フォーマット : 「ファイル識別名=現在のシーケンス番号」  
シーケンス番号は 8 桁の数字(ex. 00000001)  
先頭が ”#” で始まる行はコメント行とみなします。  
コード系 : プラットフォーム OS のコード系に準拠します。

例) シーケンス番号ファイルの内容 (通常時)

```
# ProcureMART Secuence File
FILEID01=00001000
FILEID02=00000001
```

例) シーケンス番号ファイルの記述例 (シーケンス番号が不明の場合)

```
# ProcureMART Secuence File
FILEID01=*
FILEID02=*
```

別マシンへの環境移行時や、シーケンス番号が不明の場合、シーケンス番号に “\*” (アスタリスク) を指定すると、通信終了時にサーバ側で管理しているシーケンス番号が書き込まれます。

### 3.7 メッセージファイル

HTTPclient が出力するメッセージのマスタ情報です。

ファイル名 : MSGFILE.txt  
フォーマット : 「メッセージ番号:メッセージ」  
先頭が ”#” で始まる行はコメント行とみなします。  
コード系 : プラットフォーム OS のコード系に準拠します。  
格納ディレクトリ : etc ディレクトリ

---

### 3.8 ログ定義ファイル

HTTPClient が出力するログファイルを指定します。

ファイル名 : PmartClient.properties

フォーマット : 「パラメータ名=設定値」

先頭が ”#” で始まる行はコメント行とみなします。

• log4j.appender.R.File **BASEDIR** 部分に HTTP クライアントの  
ベースディレクトリを記述

(「3.4 環境設定ファイル」の BASEDIR と同じ値)

※ 「log4j.appender.R.File」の行以外は修正する必要はありません。

例) ログ定義ファイルの記述例(Windows 版)

```
# PmartClient.properties
log4j.rootCategory=DEBUG, R
log4j.appender.R=org.apache.log4j.RollingFileAppender
log4j.appender.R.File=C:\¥ProcureMART¥log¥PmartClient.log
log4j.appender.R.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
log4j.appender.R.layout.ConversionPattern=%d %m%n
```

コード系 : プラットフォーム OS のコード系に準拠します。

格納ディレクトリ : etc ディレクトリ

※ UNIX 環境の場合には、「¥」を「/」に読み替えてください。

### 3.9 ログファイル

ProcureMART HTTPclient プログラムが出力するログファイルについて説明します。

#### 共通事項

ファイル名 : PmartClient.log

コード系 : プラットフォーム OS のコード系に準拠します。

格納ディレクトリ : log ディレクトリ

本ファイルは、ProcureMART HTTPclient プログラムの実行によりファイルが肥大していくため、不要なレコードを定期的に「ProcureMART LogDelete プログラム」で削除する必要があります。

#### 3.9.1 通信トレースログ

ProcureMART HTTPclient プログラムと HTTP サーバ間の制御の応答を全て出力します。ファイル転送にてトラブルが発生した時の調査用ログとして使用します。

#### フォーマット

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
2001-04-18 12:00:00,000	[trc]	AAAAAAAA	00000001	GET_SEQ		OK	
2001-04-18 12:00:30,100	[trc]	AAAAAAAA	00000001	SEND	102400	NG	(02451250)
2001-04-18 12:00:30,500	[trc]	AAAAAAAA	00000001	RETRY	102400	OK	
2001-04-18 12:00:30,500	[trc]	AAAAAAAA	00000001	SEND DID	00000a4b817e000047ff41afb99e0130		

- |          |   |
|----------|---|
| ①発行日時    | ProcureMART HTTPclient が HTTP サーバにリクエストの発行した日時。年月日時分秒およびミリ秒で出力する。 |
| ②種別      | ログ種別。通信トレースログの種別は trc とする。  |
| ③ファイル識別子 | リクエストに対応するファイル識別子。  |
| ④シーケンス番号 | リクエストに対応するシーケンス番号。  |
| ⑤リクエスト   | ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバに対して発行したリクエスト。              |
| ⑥データサイズ  | ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバとの間で送受信した EDI データのサイズ。      |
| ⑦処理結果    | リクエストの実行結果。   |
| ⑧詳細コード   | リクエストが失敗したときの ProcureMART HTTPclient プログラムの理由コード。                 |

### 3.9.2 送信ログ

ProcureMART HTTPclient プログラムにより、正常に HTTP サーバへ送信されたファイルの状況を出力します。送信状況確認用として利用できます。

フォーマット

①	②	③	④	⑤
2001-04-18 12:01:00,000	[snd]	AAAAAAAAA00000001	00000001	102400
2001-04-18 13:01:00,300	[snd]	AAAAAAAAA00000002	00000002	102400

- ①送信日時 ProcureMART HTTPclient が HTTP サーバにデータを送信完了した日時。
- ②種別 ログ種別。送信ログの種別は `snd` とする。
- ③送信ファイル名 ProcureMART HTTPclient プログラムにて送信したファイル名 ("`snd`"ディレクトリに置いた時のファイル名)。
- ④シーケンス番号 送信に対し HTTP サーバにて割り振られたシーケンス番号。
- ⑤データサイズ ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバへ送信した EDI データのサイズ。  
同一ファイル識別子を持つファイルを同時に送信した場合は、その合計サイズが出力される。

### 3.9.3 受信ログ

ProcureMART HTTPclient プログラムにより、正常に HTTP サーバから受信されたファイルの状況を出力します。受信状況確認用として利用できます。

フォーマット

①	②	③	④	⑤
2001-04-18 10:00:00,000	[rcv]	BBBBBBBBB00000001	00000001	204800
2001-04-18 10:00:00,500	[rcv]	BBBBBBBBB00000002	00000002	304800

- ①受信日時 ProcureMART HTTPclient が HTTP サーバからデータを受信完了した日時。
- ②種別 ログ種別。受信ログの種別は `rcv` とする。
- ③受信ファイル名 ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバから受信したファイル名 ("`rcv`"ディレクトリに置かれたファイル名)。
- ④シーケンス番号 受信に対し HTTP サーバにて割り振られたシーケンス番号。
- ⑤データサイズ ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバから受信した EDI データのサイズ。

### 3.9.4 再受信ログ

ProcureMART HTTPclient プログラムにより、正常に HTTP サーバから再受信されたファイルの状況を出力します。再受信状況確認用として利用できます。

フォーマット

①	②	③	④	⑤
2001-04-18 13:00:00,000	[rcm]	BBBBBBBB00000001	00000001	1024000
2001-04-18 15:00:00,300	[rcm]	CCCCCCCC00000001	00000001	2048000

- ①再受信日時 ProcureMART HTTPclient が HTTP サーバからデータを受受信完了した日時。
- ②種別 ログ種別。再受信ログの種別は rcm とする。
- ③再受信ファイル名 ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバから受信したファイル名("rcm"ディレクトリに置かれたファイル名)。
- ④シーケンス番号 再受信時に指定されたシーケンス番号。
- ⑤データサイズ ProcureMART HTTPclient プログラムが HTTP サーバから受信した EDI データのサイズ。

### 3.9.5 リトライログ

ProcureMART HTTPclient プログラムが、通信異常等により自動的にリトライ処理を実行した場合に出力します。リトライの状況が確認できます。

フォーマット

①	②	③	④	⑤
2001-04-18 10:00:00,000	[rty]	AAAAAAA	00000001	1
2001-04-18 10:00:10,000	[rty]	AAAAAAA	00000001	2

- ①リトライ日時 ProcureMART HTTPclient プログラムが内部リトライを実行した日時が出力される。
- ②種別 ログ種別。リトライログの種別は rty とする。
- ③ファイル識別子 リトライ対象となったファイル識別子。
- ④シーケンス番号 リトライ対象となったシーケンス番号。
- ⑤リトライ回数 ProcureMART HTTPclient プログラムが行ったリトライ回数。

### 3.9.6 リトライオーバーログ

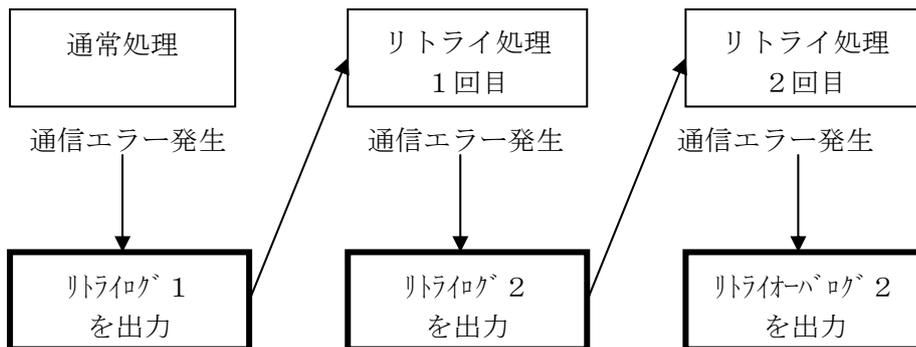
ProcureMART HTTPclient プログラムがリトライオーバーとなった場合に出力します。  
リトライオーバーの発生状況が確認できます。

フォーマット

①	②	③
2001-04-18 10:00:00,000	[rto]	2

- ①リトライオーバー日時 ProcureMART HTTPclient プログラムにてリトライオーバーが発生した日時を出力します。
- ②種別 ログ種別。リトライオーバーログの種別は rto とする。
- ③リトライオーバー回数 リトライオーバーとなったリトライ回数を出力します。

例) 「3.4 環境設定ファイル」で「retry=2」と指定した場合



### 3.9.7 異常復帰ログ

ProcureMART HTTPclient プログラムが異常終了した時に出力します。トラブル調査用のログとして使用します。

フォーマット

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
2001-04-17 19:00:00,000	[err]	AAAAAAAA	00000001	E00004	GET sequence error	(02451120)

- ①発生日時 ProcureMART HTTPclient が異常復帰した日時。
- ②種別 ログ種別。異常復帰の種別は err とする。
- ③ファイル識別子 異常復帰時に処理していたファイル識別子。
- ④シーケンス番号 異常復帰時に処理していたシーケンス番号。
- ⑤エラーコード 異常復帰時のエラーコード。
- ⑥エラー内容 異常復帰の原因概要。

---

⑦詳細コード

異常復帰時の ProcureMART HTTPclient プログラムの理由コード

---

## 4. 起動インターフェース

### 4.1 送信・受信・再受信起動インタフェース

送信・受信・再受信の起動インタフェースを示します。

```
> java PmartClient configfile snd|rcv fileid  
or  
> java PmartClient configfile rcm fileid sequence_no
```

[パラメータ説明]

- **configfile** — 環境設定ファイル名 (フルパス)  
環境設定ファイル名をフルパスで指定します。  
環境設定ファイルの書式については、「3.1 環境設定ファイル」を参照して下さい。
- **rcv|snd|rcm** — 実行モード  
HTTPClient の実行モードをいずれか指定します。
  - snd . . . ファイル送信
  - rcv . . . ファイル受信
  - rcm . . . ファイル再受信
- **fileid** — ファイル識別名  
送受信を行うファイル識別名を指定します。  
ファイル識別名は 8byte の英数字です。
- **sequence\_no**  
再受信を行うファイルのシーケンス番号を指定します。(実行モードが rcm 時のみ)  
シーケンス番号は 8byte の数字です。

※大文字／小文字は区別されます。

※引数を省略してクライアントを実行すると、バージョン情報と使用方法が表示されます。

```
> java PmartClient ←パラメータ無し  
ProcureMART HTTPClient version2.6.1  
Usage : PmartClient config snd|rcv fileid  
        PmartClient config rcm fileid sequence_no
```

---

## 4.2 ログ情報参照起動インタフェース

ログ情報参照の起動インタフェースを示します。

```
> LogExtract trc|snd|rcv|rcm|rty|rto|err [YYYY-mm-dd]
```

[パラメータ説明]

- ・ **trc|snd|rcv|rcm|rty|rto|err** — ログ種別

参照したいログのログ種別をいずれか指定します。

trc	・・・通信トレースログ
snd	・・・送信ログ
rcv	・・・受信ログ
rcm	・・・再受信ログ
rty	・・・リトライログ
rto	・・・リトライオーバーバログ
err	・・・異常復帰ログ

- ・ **YYYY-mm-dd** — 日付(省略可)

参照したいログの日付を指定します。

YYYY	・・・西暦
mm	・・・月(01~12)
dd	・・・日(01~31)

※ 環境設定ファイル名、ログ種別は必須です。

※ 西暦と月、月と日の間には「-」（ハイフン）が入ります。

※ 日付を省略した場合は指定したログ種別のすべてのログ情報が出力されます。

※ 大文字／小文字は区別されます。

※ `java LogExtract config` を実行すると、バージョン情報と使用方法が表示されます。

```
> LogExtract configfile
ProcureMART HTTP client version2.6 2004-09-21
Usage : java LogExtract configfile trc|snd|rcv|rcm|rty|rto|err [YYYY-mm-dd]
```

実行例) 2005-01-01 分の送信ログを出力

```
> LogExtract snd 2005-01-01
```

---

### 4.3 ログ削除処理起動インタフェース

ログ削除処理の起動インタフェースを示します。

```
> LogDelete YYYY-mm-dd
```

[パラメータ説明]

- ・ **YYYY-mm-dd** — 日付

削除するログの日付を指定します。指定した日付を含む過去のログ情報が削除されます。

YYYY . . . 西暦

mm . . . 月 (01~12)

dd . . . 日 (01~31)

- ※ 環境設定ファイル名、日付は必須です。
- ※ 西暦と月、月と日の間には「-」 (ハイフン) が入ります。
- ※ 大文字/小文字は区別されます。
- ※ `java LogDelete configfile` を実行すると、バージョン情報と使用方法が表示されます。

```
> LogDelete configfile
ProcureMART HTTP client version2.6 2004-09-21
Usage : java LogDelete configfile YYYY-mm-dd
```

---

## 5. 実行手順

送信・受信・再受信・ログ情報参照・ログ削除処理の実行手順について示します。

### 5.1 実行までの準備

#### ①HTTPClient のインストール直後

HTTPClient を実行するまでに、以下の作業を完了しておく必要があります。

##### ○環境設定ファイルの設定

環境設定ファイルの設定を行います。設定方法については、“3.1 環境設定ファイル”を参照して下さい。

##### ○ログ定義ファイル設定

ログ定義ファイルの設定を実施します。設定方法については、“3.8 ログ定義ファイル”を参照して下さい。

#### ②再インストール直後

HTTPClient 運用開始後に、再インストールを行う場合、インストール直後の作業に加え、サーバとの集配信ファイルの同期を合わせるための作業が発生します。

##### ○環境設定ファイルの設定

##### ○ログ定義ファイルの設定

##### ○シーケンス番号の調整

HTTPClient の再インストール後は、シーケンス番号ファイルの内容を、再インストール前と同じにする必要があります。シーケンス番号ファイルをバックアップしておき、再インストール完了後に復元します。シーケンス番号ファイルが復元できない場合は、“3.6 シーケンス番号ファイル”の記述例（シーケンス番号が不明の場合）を参照し、シーケンス番号ファイルを作成して下さい。

### 5.2 送信処理

① 上位アプリケーションにより、送信用ファイルを作成し、ProcureMART HTTPClient の送信ディレクトリ(snd)に配置。

② ProcureMART HTTPClient プログラムでファイルを送信。

送信ディレクトリ(snd)に、同一識別子名の複数ファイル(先頭 8byte が同じ)が存在する場合、1 ファイル(シーケンス)に集約されて送信されます。また、その集約は、ファイル名の昇順(ASCIIコード)で行われます。

送信ディレクトリ(snd)に、複数のファイル識別名で始まるファイルが存在する場合、ProcureMART HTTPClient 実行時に指定したファイル識別名のみが送信対象となります。

正常に HTTP サーバに送信されたファイルは、snd ディレクトリから sndback ディレクトリに移動されます。

---

#### 実行例

送信ディレクトリ(snd)に” 05020000000001”, ” 05020000000002”, ”05010000000001”の3ファイルが存在する場合、識別子” 05020000”と一致する2ファイルのみが、” 05020000000001”, ” 05020000000002”の順に1ファイルに集約されて送信されます。

```
C:\> java PmartClient configfile snd 05020000
C:\> ProcureMART¥snd¥05020000000001 sending ...
C:\> ProcureMART¥snd¥05020000000002 sending ...
INFO: ProcureMART HTTP client Normal End
```

### 5.3 受信処理

- ① ProcureMART HTTPclient プログラムでファイルを受信。(受信先は、rcv ディレクトリ)  
受信ファイルは、HTTP サーバ側で未受信の複数ファイルが1ファイルに集約されるため、1回の受信処理実行につき常に1ファイルとなります。  
受信先ディレクトリ (rcv) に、受信するファイルと同名のファイルがすでに存在する場合、ファイルは上書きされます。
- ② 受信ファイルを、上位アプリケーションによって他業務システムに転送します。

#### 実行例

```
C:\> java PmartClient configfile rcv US040000
C:\> ProcureMART¥rcv¥US040000000000013 receiving ...
INFO: ProcureMART HTTP client Normal End
```

### 5.4 再受信処理

- ① ProcureMART HTTPclient プログラムでファイルを再受信。(受信先は、rcm ディレクトリ)  
HTTP サーバ側に保存されている受信済みのファイルが再度受信されます。  
受信先ディレクトリに、受信するファイルと同名のファイルがすでに存在する場合、ファイルは上書きされます。
- ② 受信ファイルを、上位アプリケーションによって他業務システムに転送します。

#### 実行例

```
C:\> java PmartClient configfile rcm US040000 00000003
C:\> ProcureMART¥rcm¥US040000000000003 receiving ...
INFO: ProcureMART HTTP client Normal End
```

---

## 5.5 ログ情報参照処理

### ① ProcureMART LogExtract プログラムでログ情報を参照。

(1) ログ種別のみ指定した場合は、指定したログ情報が画面に表示されます。

```
> java LogExtract configfile snd
start...
2001-07-31 10:05:04,979 [snd] 05020000 00000087 SEND 712 OK
2001-08-02 09:05:04,979 [snd] 05020000 00000088 SEND 356 OK
2001-08-03 11:05:04,979 [snd] 05020000 00000089 SEND 712 OK
INFO: ProcureMART LogExtract Normal End
```

(2) 日付を指定した場合は、該当日付のログ情報のみ画面に表示されます。

```
> java LogExtract configfile snd 2001-08-03
start...
2001-08-03 11:05:04,979 [snd] 05020000 00000089 SEND 712 OK
INFO: ProcureMART LogExtract Normal End
```

(3) ログ格納ファイル名が指定されている場合は、画面（標準出力）ではなくファイルに出力されます。

```
> java LogExtract configfile snd > C:\temp\sndlog.txt
INFO: ProcureMART LogExtract Normal End
```

## 5.6 ログ削除処理

### ① ProcureMART LogDelete プログラムでログファイルのログ情報を削除。

指定した日付以前のログ情報のみ削除されます。

実行例

```
> java LogDelete configfile 2001-07-31
delete...
INFO: ProcureMART LogDelete Normal End
```

---

## 6. 運用上の注意

### 6.1 2重起動

2重起動はしないで下さい。必ず、コマンドが復帰してから次のコマンドを実行して下さい。起動中の状態はログに出力されます。“5.4 ログ情報参照インタフェース”を参照して下さい。

### 6.2 受信中ファイルの扱い

受信中ファイルは、rcv(受信ファイル格納ディレクトリ)は以下に作成されます。

ファイル名： . +ファイル識別子 (詳細は、“3.5 受信中ファイル”を参照して下さい)

このファイルは、作業中のファイルですので、処理しないようにして下さい。

### 6.3 自動で削除されないデータ

自動的に削除されないデータがあります。定期的に削除するようにして下さい。

#### ○送信済データ

sndback (送信済ファイル格納ディレクトリ) 内ファイルは、自動で削除されません。定期的に削除するようにして下さい。

#### ○ログ

ProcureMART クライアントのログは追加書きで出力されます。

“5.6 ログ削除処理”にて、定期的にログを削除するようにして下さい。

### 6.4 定義ファイルのバックアップ

HTTPclient の環境を容易に復元するために、定義ファイルのバックアップを作成します。

#### ○インストール完了直後

- ・動作環境ファイル

#### ○再インストール前

- ・動作環境ファイル
- ・シーケンス番号ファイル

### 6.5 集配信が出来なくなったら

#### ○初めての起動で失敗する場合

- ・HTTPclient メッセージよりインストールおよび設定環境の見直しを実施して下さい。

#### ○運用中に集配信できなくなった場合

- ・お客様側のネットワーク環境等に変更がないかご確認下さい。
- ・HTTPclient が出力するメッセージやログを参照し、原因を調査して下さい。

#### ○再インストール後に集配信ができなくなった場合

- ・インストールおよび設定環境の見直しを実施して下さい。
- ・シーケンス番号ファイルの調査を実施して下さい。

---

## 6.6 サポート窓口への問い合わせ

HTTPclient が起動できず、お客様に対処できない場合は、ご契約されたサポート窓口までご連絡(メール)下さい。その際、以下の内容をお知らせください。

### ①HTTPユーザID

お客様が使用されているHTTPユーザIDを明記して下さい。

### ②HTTPclientのバージョン

HTTPclient のバージョンを明記して下さい。

HTTPclient を引き数無しで実行すると表示されます。

[コマンド例]

```
> java PmartClient ←パラメータ無し
ProcureMART HTTPClient version2.6.1
Usage : PmartClient config snd | rev fileid
        PmartClient config rcm fileid sequence_no
```

### ③事象発生日時

事象が発生した日時を、明記して下さい。

### ④事象

発生事象を明記して下さい。

### ⑤出力メッセージ

コマンドの実行ラインと、出力されたメッセージを明記して下さい。

### ⑥ログ

調査用に、以下のログを出力し、内容を明記して下さい。

- ・通信トレースログ
- ・異常復帰ログ

ログ情報参照コマンドにて出力されます。

[コマンド例]

```
C:\¥> java LogExtract configfile trc
C:\¥> java LogExtract configfile err
```

### ⑦環境設定ファイル

環境に問題があるようであれば、環境設定ファイル内容も明記して下さい。

### ⑧シーケンス番号ファイル

集配信ができない場合は、シーケンス番号ファイルの内容も明記して下さい。

(調査依頼メール例)

ProcureMART サポートセンター宛

以下の調査をお願いします。

[ユーザ I D] : HTTP0001

[HTTPclient のバージョン] : ProcureMART HTTPClient version2.6

[事象発生日時] : 2004.10.01 13:00

[事象]

ファイルが受信できない。

[出力メッセージ]

C:\>PmartClient rcv FILEID01

WARNING: Re-Receive data not found. (data expire, sequence number not found)

[ログ]

```
2001-08-20 13:00:00,000 [trc] FILEID01 00000001          GET_SEQ NG(02451250)
2001-08-20 13:00:00,000 [err] FILEID01 00000001 E00004 GET sequence error (02451120)
```

[環境設定ファイル]

```
#ProcureMART HTTP Client Config File
HOST= filetrans.procuremart.ne.jp
PORT=443
BASEURI=https://filetrans.procuremart.ne.jp/servlet/
USERID=fujitsu
PASSWD=ProcureMART
PROXYHOST=proxy.xxx.co.jp
PROXYPORT=8080
TIMEOUT=10
RETRY=2
RETRYTIME=6
BASEDIR= /home/ProcureMART
DATATYPE=0
```

[シーケンス番号ファイル]

```
# ProcureMART Secuence File
FILEID01=00001000
FILEID02=00000001
```

## 7. メッセージ一覧

「ProcureMART HTTPClient」の実行時の表示メッセージと、その時のシステムの処理、利用者の対処の一覧を示します。

メッセージ番号	I00000	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO : ProcureMART HTTP client Normal End		
意味	正常に終了しました。		
システムの処理	正常終了。		
利用者の対処	なし。		
メッセージ番号	I00001	メッセージ種別	INFO
メッセージ	ProcureMART HTTPClient version2.6 Usage : PmartClient config snd   rcv fileid PmartClient config rcv fileid sequence_no		
意味	実行パラメータに誤りがあります。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	実行パラメータを確認してください。		
メッセージ番号	I00002	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO : Send File no exist		
意味	送信ファイル格納ディレクトリ(snd)に、“fileid”で指定した文字列で始まるファイルが存在しません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	送信ファイル格納ディレクトリ(snd)に、“fileid”で指定した文字列で始まるファイルが存在しているか確認してください。		

メッセージ番号	I00003	メッセージ種別	INFO
メッセージ	ProcureMART HTTP client version2.6 2004-09-21 Usage : java LogExtract config trc   snd   rcv   rcm   rty   rto   err [YYYY-mm-dd]		
意味	実行パラメータに誤りがあります。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	実行パラメータを確認してください。		
メッセージ番号	I00004	メッセージ種別	INFO
メッセージ	ProcureMART HTTP client version2.6 2004-09-21 Usage : java LogDelete config YYYY-mm-dd		
意味	実行パラメータに誤りがあります。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	実行パラメータを確認してください。		
メッセージ番号	I00005	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO: ProcureMART LogDelete Normal End		
意味	正常終了しました。		
システムの処理	正常終了。		
利用者の対処	なし。		

メッセージ番号	I00006	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO: ProcureMART LogExtract Normal End		
意味	正常終了しました。		
システムの処理	正常終了		
利用者の対処	なし。		
メッセージ番号	I00007	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO: move file from sndwork direcotry to sndback direcotry		
意味	シーケンス番号が 1 つ遅れていたため、sndwork ディレクトリ中の送信ファイルを sndback ディレクトリに移動したことを示しています。		
システムの処理	正常		
利用者の対処	なし。		
メッセージ番号	I00008	メッセージ種別	INFO
メッセージ	INFO: move tmprcvfile to rcvfile		
意味	シーケンス番号が 1 つ遅れていたため、rcv ディレクトリ中の”ドット付(.)受信ファイル名”を”受信ファイル名”に移動したことを示しています。		
システムの処理	正常		
利用者の対処	なし。		

---

メッセージ番号	W00001	メッセージ種別	WARNING
メッセージ	WARNING: Re-Receive data not found. (data expire, sequence number not found)		
意味	再受信処理に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	シーケンス番号を確認してください。データの期限切れのため、指定したシーケンス番号のデータ取得はできません。		

メッセージ番号	E00001	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : No such file		
意味	環境設定ファイル格納ディレクトリ(etc)に、“config”で指定した環境設定ファイルが存在しません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境設定ファイル格納ディレクトリ(etc)に、“config”で指定した環境設定ファイルが存在しているか確認してください。		
メッセージ番号	E00002	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Not numeral		
意味	環境設定ファイル内の PORT または PROXYPORT の値が数値以外です。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境設定ファイル内の PORT または PROXYPORT に設定した値を確認してください。		
メッセージ番号	E00003	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Unknown protocol		
意味	環境設定ファイル内の BASEURI に設定されているプロトコルが http または https 以外です。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境設定ファイル内の BASEURI に設定した値を確認してください。		

メッセージ番号	E00004	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Get Sequence ERROR		
意味	シーケンス番号の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00005	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : usrid,passwd cannot encode		
意味	usrid または passwd のエンコードに失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境設定ファイル内の USRID,PASSWD に設定した値を確認してください。		
メッセージ番号	E00006	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : HeaderIfo cannot get		
意味	HTTP ヘッダ情報の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		

メッセージ番号	E00007	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : BodyInfo cannot get		
意味	HTTP ボディ情報の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		
メッセージ番号	E00008	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : HTTP Server response message		
意味	HTTP ステータスコードエラーです。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	「7 章 サーバステータス一覧」のステータスと一致する“クライアントの処置”の記述に従って対処してください。		
メッセージ番号	E00009	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Cookie(sessionID) cannot get		
意味	Cookie よりセッション ID の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい		

メッセージ番号	E00010	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Cookie(sequence) cannot get		
意味	Cookie よりシーケンス番号の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい		
メッセージ番号	E00011	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Sequence Number Error ...		
意味	シーケンス番号エラーです。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00012	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Directory check error		
意味	送信／受信ファイル格納ディレクトリ(snd,rcv,sndwork,rcm)が存在しません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	送信／受信ファイル格納ディレクトリ(snd,rcv,sndwork,rcm)が存在しているか確認してください。		

メッセージ番号	E00013	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : cannot get Sequence Number		
意味	シーケンス番号の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00014	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : cannot get File length		
意味	送信ファイルを読み込めませんでした。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00015	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : cannot move from snd to sndwork		
意味	snd ディレクトリ中の送信ファイルを sndwork ディレクトリへの移動に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	送信ファイル格納ディレクトリ(snd,sndwork)が存在しているか確認してください。		

メッセージ番号	E00016	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Sequence Number cannot update		
意味	シーケンス番号ファイル(PmartClient.seq)の更新に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境ファイル格納ディレクトリ(etc)にシーケンス番号ファイル(PmartClient.seq)が存在しているか確認してください。		
メッセージ番号	E00017	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : cannot move from sndwork to sndback		
意味	sndwork ディレクトリ中の送信ファイルを sndback ディレクトリへの移動に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	送信ファイル格納ディレクトリ(snd,sndwork)が存在しているか確認してください。		
メッセージ番号	E00018	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Sequence Number is advance		
意味	クライアントシーケンス番号がサーバのシーケンス番号より進んでいます。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境ファイル格納ディレクトリ(etc)にあるシーケンス番号ファイル(PmartClient.seq)のシーケンス番号が、本メッセージの前に出力された“(サーバ側シーケンス番号)-1”の値となっているか確認してください。		

メッセージ番号	E00019	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Sequence Number error		
意味	シーケンス番号が間違っています。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境ファイル格納ディレクトリ(etc)にあるシーケンス番号ファイル(PmartClient.seq)のシーケンス番号が、本メッセージの前に出力された“(サーバ側シーケンス番号)-1”の値となっているか確認してください。		
メッセージ番号	E00020	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : file cannot read		
意味	送信ファイルを読み込めませんでした。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00021	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Send process error		
意味	送信ファイルを送信できませんでした。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		

メッセージ番号	E00022	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Sequence Number is late		
意味	クライアントシーケンス番号がサーバシーケンス番号より遅れています。		
システムの処理	シーケンス番号が 1 つ遅れていたため、rcv ディレクトリ中の”ドット付(.)受信ファイル名”を”受信ファイル名”に移動します。		
利用者の対処	なし。		
メッセージ番号	E00023	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Server's Sequence Number is XXXXXXXXXXXX		
意味	シーケンス番号がサーバシーケンス番号と不一致です。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00024	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Receive process error		
意味	データを受信できませんでした。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		

メッセージ番号	E00025	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Receive Complete process error		
意味	受信済み処理に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00026	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Re-Receive process error		
意味	再受信処理に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	前後に出力されたメッセージの“利用者の対処”に従ってください。		
メッセージ番号	E00027	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : MD5 value cannot get		
意味	MD5 の取得に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		

メッセージ番号	E00028	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : MD5 digest prcess error		
意味	MD5 の値が異常です。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい		
メッセージ番号	E00029	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : socket timeout		
意味	通信がタイムアウトしました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		
メッセージ番号	E00030	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : retry err		
意味	リトライに失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		

メッセージ番号	E00031	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : retry over		
意味	リトライ回数をオーバーしました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	通信環境を確認して下さい。本メッセージが繰り返し表示される場合には技術員に調査を依頼して下さい。		
メッセージ番号	E00032	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Log classification error		
意味	指定したログ種別は誤っています。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定したログ種別を確認してください。		
メッセージ番号	E00033	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Date error (The number of the characters is not 10.)		
意味	日付の形式が YYYY-mm-dd ではありません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定した日付の形式が YYYY-mm-dd であるか確認してください。		

メッセージ番号	E00034	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Date error (Stop character is not “-“.)		
意味	日付の形式が YYYY-mm-dd の形式ではありません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定した日付の形式が YYYY-mm-dd であるか確認してください。		
メッセージ番号	E00035	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Date error (The year is not exist.)		
意味	日付の年が 4 桁の数字ではありません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定した日付の西暦を確認してください。		
メッセージ番号	E00036	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Date error (The month is not exist.)		
意味	日付の月が 2 桁の数字で 01~12 の間ではありません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定した日付の月を確認してください。		
メッセージ番号	E00037	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : Date error (The day is not exist.)		
意味	日付の日が 2 桁の数字で 01~31 の間ではありません。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	指定した日付の日を確認してください。		

メッセージ番号	E00038	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : file cannot write		
意味	ログファイルの書き込みに失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	ファイルに書きこみ権があるか確認してください。		
メッセージ番号	E00039	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	ERROR : cannot change code		
意味	データのコード変換に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	環境設定ファイルの DATATYPE に指定した値を確認してください。本メッセージが繰り返し表示される場合は技術員に調査を依頼してください。		
メッセージ番号	E00040	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	E00040:ERROR: cannot rename		
意味	受信ファイル名の変更に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	本メッセージが繰り返し表示される場合は技術員に調査を依頼してください。		

メッセージ番号	E00042	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	E00041:ERROR: The program has already started.		
意味	クライアントが既に起動済みです。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	クライアントが終了後、起動してください。		
メッセージ番号	E00043	メッセージ種別	ERROR
メッセージ	E00043:ERROR: cannot delete		
意味	0 バイトの受信ファイルの削除に失敗しました。		
システムの処理	処理を中止します。		
利用者の対処	本メッセージが繰り返し表示される場合は技術員に調査を依頼してください。		

## 8. サーバステータス一覧

HTTP サーバからの受信/送信/再受信処理別の返却ステータス一覧を示します。

### 8.1 送信

ステータス	200(OK)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が期待どおり (クライアント側シーケンス番号+1) の場合。		
ステータス	200(OK)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	前回実行分の再送中止です		
クライアントの処置	前回の送信処理を「成功」へ変更し、送信処理を中止します。		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が遅れている場合。		
ステータス	200(OK)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	システム異常です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が進んでいる場合。		
ステータス	400(Bad Request)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数の誤りなど)		

ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	認証エラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(認証 ID, パスワード, 処理手順を確認します)		
備考	<p>認証 ID, パスワードに誤りがあります。  (前回の) 別セッションが存在します。  処理手順に誤りがあります。</p>		
ステータス	404(Not Found)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	要求異常です		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI, 認証 ID, ファイル識別名を確認します)		
備考	<p>指定した URI が存在しません。  指定した認証 ID, ファイル識別名が登録されていません。  (文法的には正しいが該当するデータがない)</p>		
ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		
ステータス	201(Created)	処理工程	送信
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考	なし。		

ステータス	400(Bad Request)	処理工程	送信
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数などの誤り)		
ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	送信
意味	セッションエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(セッション ID, 処理手順を確認します)		
備考	セッション ID に誤りがあります。処理手順に誤りがあります。		
ステータス	404(Not Found)	処理工程	送信
意味	要求異常。データなし。		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI、認証 ID、ファイル識別名、シーケンス番号を確認します)		
備考	指定した URI が存在しません。 指定した認証 ID、ファイル識別名が登録されていません。 指定したシーケンス番号に誤りがあります。		
ステータス	408(Request Timeout)	処理工程	送信
意味	セッションタイムアウトです		
クライアントの処置	処理を中止します。(最初 [シーケンス番号獲得] から送信処理を行います)		
備考	セッションタイムアウト後に要求を行った場合。		
ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	送信
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		

## 8.2 受信

ステータス	302(Moved Temporary)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が期待どおり (クライアントシーケンス番号+1) の場合。		
ステータス	302(Moved Temporary)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	前回実行分の再送中止です		
クライアントの処置	前回の受信処理を「成功」へ変更し、受信処理を中止します。 受信データは、再受信手順により受信します。		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が遅れている場合。		
ステータス	302(Moved Temporary)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	システム異常です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	HTTP サーバから取得したシーケンス番号が進んでいる場合。		
ステータス	400(Bad Request)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数の誤りなど)		

ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	認証エラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(認証 ID, パスワード, 処理手順を確認します)		
備考	<p>認証 ID, パスワードに誤りがあります。  (前回の) 別セッションが存在します。  処理手順に誤りがあります。</p>		
ステータス	404(Not Found)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	要求異常です		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI, 認証 ID, ファイル識別名を確認します)		
備考	<p>指定した URI が存在しません。  指定した認証 ID, ファイル識別名が登録されていません。</p>		
ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	シーケンス番号取得
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		
ステータス	200(OK)	処理工程	受信
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考			

ステータス	400(Bad Request)	処理工程	受信
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数などの誤り)		
ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	受信
意味	セッションエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(セッション ID, 処理手順を確認します)		
備考	セッション ID に誤りがあります。処理手順に誤りがあります。		
ステータス	404(Not Found)	処理工程	受信
意味	要求異常。データなし。		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI, 認証 ID, ファイル識別名, シーケンス番号を確認します)		
備考	指定した URI が存在しません。 指定した認証 ID、ファイル識別名が登録されていません。 指定したシーケンス番号に誤りがあります。		
ステータス	408(Request Timeout)	処理工程	受信
意味	セッションタイムアウトです		
クライアントの処置	処理を中止します。(最初 [シーケンス番号獲得] から受信処理を行います)		
備考	セッションタイムアウト後に要求を行った場合。		
ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	受信
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		

ステータス	200(OK)	処理工程	受信済み
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考			
ステータス	400(Bad Request)	処理工程	受信済み
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数などの誤り)		
ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	受信済み
意味	セッションエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(セッション ID, 処理手順を確認します)		
備考	セッション ID に誤りがあります。処理手順に誤りがあります。		
ステータス	404(Not Found)	処理工程	受信済み
意味	要求異常。データなし。		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI, 認証 ID, ファイル識別名, シーケンス番号を確認します)		
備考	指定した URI が存在しません。 指定した認証 ID、ファイル識別名が登録されていません。 指定したシーケンス番号に誤りがあります。		
ステータス	408(Request Timeout)	処理工程	受信済み
意味	セッションタイムアウトです		
クライアントの処置	処理を中止します。(最初 [シーケンス番号獲得] から受信処理を行います)		
備考	セッションタイムアウト後に要求を行った場合。		

ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	受信済み
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		

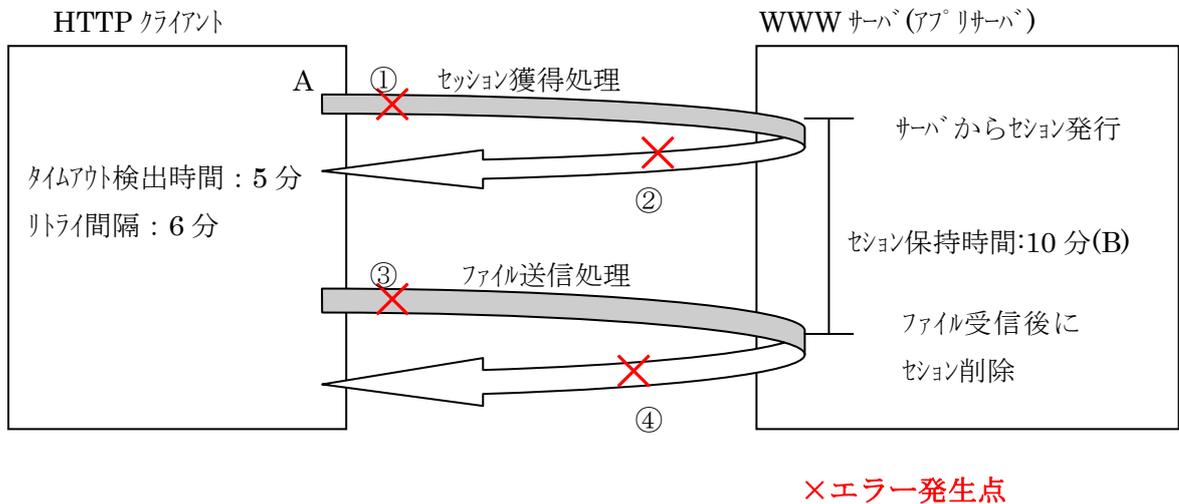
### 8.3 再受信

ステータス	302(Moved Temporary)	処理工程	再受信
意味	正常		
クライアントの処置	処理を続行します。		
備考	なし。		
ステータス	400(Bad Request)	処理工程	再受信
意味	要求電文無効です		
クライアントの処置	処理を中止します。(要求電文の文法を確認します)		
備考	要求電文の文法に誤りがあります。(メソッド, パラメータ, 桁数などの誤り)		
ステータス	401(Unauthorized)	処理工程	再受信
意味	認証エラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(認証 ID, パスワードを確認します)		
備考	認証 ID, パスワードに誤りがある場合。		

ステータス	404(Not Found)	処理工程	再受信
意味	要求異常。データなし。		
クライアントの処置	処理を中止します。(URI、認証 ID、ファイル識別名、シーケンス番号、期限切れ日時を確認します)		
備考	指定した URI が存在しません。 指定した認証 ID、ファイル識別名が登録されていません。 指定したシーケンス番号に誤りがあります。 指定したシーケンス番号のデータは期限切れです。		
ステータス	500(Internal Server Error)	処理工程	再受信
意味	サーバエラーです		
クライアントの処置	処理を中止します。(技術員に調査を依頼します)		
備考	サーバ内部でエラーが発生した場合。		

## 付録 HTTPファイル転送におけるタイムアウト/リトライ時間設定

クライアントのタイムアウト、リトライ間隔設定時間について、ファイル送信処理を例に説明します。



HTTP client プログラムでは、エラーが発生（タイムアウトや通信エラー）した場合、リトライ処理はエラーとなった地点(①②③④)からではなく、必ずプログラムの始めの (A 点) からリトライ処理が行われます。

サーバ側のセッション保持時間は 10 分固定(B)となっているため、クライアント側のリトライ間隔とタイムアウト検出時間の合計は、サーバ側セッション保持時間(10 分)より必ず大きい値を設定する必要があります。

リトライ間隔とタイムアウト検出時間の合計が 10 分以下の場合、サーバステータスとして、"401(Unauthorized)"のエラー（サーバ側にセッションがまだ存在する）となります。